

## 令和3年第1回定例会6月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、会議については、原則マスクを着用し、換気等の措置を実施の上行いますので、ご理解とご協力をお願いします。  
風邪症状（熱、咳、くしゃみ、鼻水等）のある人は、傍聴をご遠慮願います。

### 発 言 順 位

6月14日（月）

- |     |    |     |    |             |            |
|-----|----|-----|----|-------------|------------|
| (1) | 三好 | 宏   | 議員 | (自民党 真誠会)   | …………… P 2  |
| (2) | 梅田 | 宏希  | 〃  | (公明党)       | …………… P 4  |
| (3) | 竹内 | きよ子 | 〃  | (明石かがやきネット) | …………… P 5  |
| (4) | 井藤 | 圭順  | 〃  | (自民党 真誠会)   | …………… P 7  |
| (5) | 尾倉 | あき子 | 〃  | (公明党)       | …………… P 8  |
| (6) | 吉田 | 秀夫  | 〃  | (明石かがやきネット) | …………… P 9  |
| (7) | 灰野 | 修平  | 〃  | (自民党 真誠会)   | …………… P 11 |

6月15日（火）

- |      |     |     |    |             |            |
|------|-----|-----|----|-------------|------------|
| (8)  | 佐々木 | 敏   | 議員 | (公明党)       | …………… P 12 |
| (9)  | 林   | 丸美  | 〃  | (明石かがやきネット) | …………… P 13 |
| (10) | 林   | 健太  | 〃  | (自民党 真誠会)   | …………… P 14 |
| (11) | 松井  | 久美子 | 〃  | (公明党)       | …………… P 15 |
| (12) | 寺井  | 吉広  | 〃  | (自民党 真誠会)   | …………… P 16 |
| (13) | 飯田  | 伸子  | 〃  | (公明党)       | …………… P 17 |
| (14) | 千住  | 啓介  | 〃  | (自民党 真誠会)   | …………… P 18 |

6月16日（水）

- |      |     |    |    |            |            |
|------|-----|----|----|------------|------------|
| (15) | 楠本  | 美紀 | 議員 | (日本共産党)    | …………… P 19 |
| (16) | 森   | 勝子 | 〃  | (維新の会)     | …………… P 21 |
| (17) | 家根谷 | 敦子 | 〃  | (スマイル会)    | …………… P 22 |
| (18) | 宮坂  | 祐太 | 〃  | (フォーラム明石)  | …………… P 23 |
| (19) | 丸谷  | 聡子 | 〃  | (かけはしSDGs) | …………… P 24 |
| (20) | 辻本  | 達也 | 〃  | (日本共産党)    | …………… P 26 |
| (21) | 北川  | 貴則 | 〃  | (維新の会)     | …………… P 28 |

※ 順位については予定です。

令和3年第1回定例会6月議会発言通告一覧表

(代表質問)

発言順位	1	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 泉市長の政令市移行を目指す発言について</b></p>		
	<p>(1) 政令市への移行発言の真意について                      (要旨) 本年5月27日の記者会見において、泉市長から人口が30万人を超えた機を捉え、さらなる権限の移譲を進めるため政令市への移行を目指すとの発言があった。平成30年4月に中核市へ移行してから4年目を迎え、人口増や税収増によるまちの好循環が続いているが、議会での議論は一切されておらず、唐突感は否めない。長期総合計画との整合性も含めて、その発言の真意を問う。</p>		
	<p><b>2 工場立地法に基づく緑地面積率の緩和について</b></p> <p>(1) 工場緑地のあり方検討会の進捗状況について                      (要旨) 議会は令和2年12月議会において、明石商工会議所からの工場立地法による緑地面積率等の緩和に関する請願を賛成多数で採択し、その意向は示している。市では、これを受けて工場緑地のあり方検討会を立ち上げ、議論が行われているが、コロナ禍で中断している。議会で議論が始まり2年以上が経過していることから、速やかに検討会を再開し、その答申を求めるべきだと思うが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 緑地面積率を緩和する条例制定について                      (要旨) 加古川市が本年4月から緩和していることも踏まえ、本市でも早期に条例を制定するべきであるが、そのタイミングはいつになるのか、市の見解を問う。</p>		
<p><b>3 第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会について</b></p> <p>(1) 現在の取組状況について                      (要旨) 令和4年秋に本市で第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会の開催が決定している。本年10月に開催予定である1年前プレイベントも含めた現在の取組状況を聞く。</p> <p>(2) 本市独自の取組について                      (要旨) 全国豊かな海づくり大会として、必須行事のほかに開催地である兵庫県や本市の特色を生かした取組も必要であると考え、市の見解を問う。</p>			

(代表質問)

発言順位	1	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>4 コロナ禍におけるごみ処理の諸問題について</b></p> <p>(1) コロナ禍におけるごみ処理状況について (要旨) コロナ禍で、ごみの発生状況も変化していると聞いている。市民生活に必要な不可欠な事業であるごみ処理の、この1年の状況について聞く。</p> <p>(2) 新ごみ処理施設建設への影響について (要旨) コロナ禍において計画中的の新ごみ処理施設建設の進捗状況を聞く。また、環境省が2022年度に制定を目指しているプラスチック資源循環促進法による影響についても聞く。</p>		

発言順位	2	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p><b>1 新型コロナウイルスワクチン接種について</b></p> <p>(1) ワクチン接種の現状と課題について  (要旨) コロナ収束の切り札となるワクチンは、医療従事者、高齢者施設等従事職員に続いて65才以上の高齢者にも接種が始まっているが、計画どおりに進んでいるのか。また、接種希望者で予約ができていない人への対応等、現状と課題についてお答えください。</p> <p>(2) 今後の接種計画について  (要旨) 高齢者接種後は、基礎疾患のある市民、その他の市民の順番となるが、接種券発送、予約受付、接種等の円滑な実施が望まれる。今後の接種計画についてお答えください。</p> <p>(3) 国からの接種加速要請に対する推進体制について  (要旨) 国はワクチン接種を加速し、1日100万回接種の実現を目指すとの報道がなされている。厚生労働省は本年5月28日付の事務連絡において、基礎疾患を有する人の接種機会を損なわない範囲で一般予約を受け入れ、接種の空白期間がないようにとしている。国からの加速要請を踏まえて、接種体制をどのように考えているか。行政と医師会の連携、個別接種への支援策、接種体制を支えるスタッフの確保などについてお答えください。</p> <p><b>2 新型コロナウイルス禍の諸課題について</b></p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染による後遺症対策について  (要旨) 新型コロナに感染し、治療・療養を終えた後も長期間にわたって倦怠感や味覚・嗅覚の異常などの後遺症に苦しむ市民がいる。本市の後遺症対策の実態とその支援策についてお答えください。</p> <p>(2) コロナ禍での孤独・孤立対策について  (要旨) コロナ感染拡大により失業や孤独・孤立による社会的困窮者が増加している。3度目の緊急事態宣言が延長され、特に女性、小中高生、ひとり親家庭等の困窮が懸念されている。本市の実態と対策についてお答えください。</p> <p>(3) コロナ対策体制による通常業務への影響について  (要旨) 感染対策局への人事異動は本年6月2日までに合計数十人にのぼる。コロナウイルス対策に全庁を挙げて対応することはやむを得ない事態であるが、通常業務の停滞は明白である。影響のある事業については、安易に延期するのではなく、臨時職員の採用に積極的に取り組み、早期に職員を通常業務に復帰させるべきである。お考えをお答えください。</p>		

発言順位	3	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発言事項	<p><b>1 新型コロナウイルスワクチン接種事業について</b></p> <p>(1) 新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備について (要旨) 65歳以上の高齢者の接種予約における課題解決について市の見解を問います。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスワクチン接種の現状及び今後のスケジュールについて (要旨) 本市における新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備についての進捗状況と今後のスケジュールについて、市の見解を聞きます。</p> <p><b>2 大久保駅南地区JT跡地の開発計画について</b></p> <p>(1) JT跡地の周辺道路整備の進捗状況について (要旨) JT跡地は、東は住宅街、南は小学校・幼稚園に接しています。北側は車道との間に民有地が介在し、歩道の整備工事が止まっています。その原因は所有者との取得交渉が難航していることによると以前に説明がありましたが、その後の交渉の進捗状況についてお聞きします。いずれも通学路であり、安全性を高める必要があると考えます。</p> <p>(2) 公共公益施設用地の活用について (要旨) JT跡地のうち民間売却地は開発工事が進んでいますが、残る公共公益施設用地の活用については計画が未定です。具体的な活用方法の検討に当たっては、地域住民が参画できる機会をいつ、どのようにするのか、お聞きします。</p> <p><b>3 新型コロナ禍の教育現場において子供たちがのびのびと学校生活を送ることができる環境整備について</b></p> <p>(1) 兵庫型体験教育である自然学校及びトライやる・ウィークの現状について (要旨) 新型コロナ禍において不安を抱く子供たちが多くなってきている中、兵庫型体験教育は子供の成長段階に応じて生きる力を育む活動となっています。今年度も実施が計画されていますが、コロナ禍でどのような感染対策に工夫して取り組まれるのか、市の見解を聞きます。</p>		

発言順位	3	議員名	竹内 きよ子（明石かがやきネット）
発言事項	<p><b>4 不妊治療にかかる費用の助成について</b></p> <p>(1) 市内の指定医療機関における不妊治療の助成制度の実施状況について  (要旨) 不妊に悩む方から、治療に関して保険適用外の自由診療になるケースが多いため、助成金などを求める声があります。本市の助成制度の実施状況を問います。</p> <p>(2) ペア検査助成事業について  (要旨) 兵庫県では、不妊治療ペア検査助成事業という市町に対して不妊治療の検査にかかる費用を補助する事業がありますが、本市ではこの事業をどのように活用するのか問います。</p>		

発言順位	4	議員名	井藤圭順（自民党 真誠会）
発言事項	<p><b>1 本市のおむつ事業について</b></p> <p>(1) 0歳児見守り訪問「おむつ定期便」について  (要旨) 本市で0歳児見守り訪問「おむつ定期便」が始まり半年以上が経過したが、その成果と今後の取組について、本市の見解を聞く。</p> <p>(2) 就学前施設でのおむつの処理について  (要旨) 就学前施設における乳幼児の使用済みおむつの処理について、公立園と民間園で差異がある。保護者が通う園によって異なる対応を受けられないよう統一した取扱いができないか、本市の見解を聞く。</p> <p><b>2 給食運営事業費について</b></p> <p>(1) 小学校の給食運営事業費について  (要旨) 昨年度は、食材費の高騰等によって給食運営事業費の増額補正を行ったが、その成果はどうだったのか。また、今年度の取組と併せて給食運営事業は現状で持続可能なものとなっているのか、市の見解を聞く。</p> <p><b>3 社会貢献活動の推進について</b></p> <p>(1) これまでのPTAに対する本市の取組について  (要旨) 本市のこどもを核としたまちづくりの施策効果もあり、子育て世代の市民が増加している。その子育て世代が中心に活動するPTAに対する取組について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 地域活動やPTAなど社会貢献活動への参画について  (要旨) 子育て世代が地域やPTAなどで活動するために休暇を取りやすい環境が必要と考えるが、その推進について、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	5	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発言事項	<p><b>1 緊急事態宣言再延長に伴う地域経済への影響と支援について</b></p> <p>(1) 緊急事態宣言再延長に伴う本市の経済への影響について  (要旨) 昨年からの新型コロナウイルス感染拡大で地域経済が落ち込み、特に今年に入ってから、飲食店などの経営が厳しい状況である。本市の経済への影響を聞く。</p> <p>(2) 今後の支援の取組について  (要旨) 家賃支援や国の一時支援金の対象となっていない事業者など、今後の支援の取組について聞く。</p> <p><b>2 マイナンバーカードの交付状況と今後の取組について</b></p> <p>(1) マイナンバーカード交付状況について  (要旨) 国は2022年度末までに全国民にマイナンバーカードを普及するように強力に推進しているが、本市の交付状況を聞く。</p> <p>(2) 交付窓口の拡充など今後の取組について  (要旨) 市民にスムーズに受渡しができるよう交付窓口の拡充をするなど、今後の取組を聞く。</p>		

発言順位	6	議員名	吉田 秀夫 (明石かがやきネット)
発言事項	<p><b>1 本市の人事行政について</b></p> <p>(1) 本市職員の定年制について  (要旨) 地方公務員法及び明石市職員の定年等に関する条例により、市職員の定年は60歳と定められているが、定年延長者が増えてきている。どのような理由があるのか。</p> <p><b>2 本市の人口動態について</b></p> <p>(1) 国勢調査の結果とその分析について  (要旨) 国勢調査の結果、速報値で人口が30万人を超える結果となった。世代ごとの推移とその要因の分析、評価について聞く。</p> <p>(2) 人口増による行政への影響について  (要旨) 人口の増加は、財政状況、にぎわいの創出、イメージアップなど、様々な点で市政に影響を及ぼしていると思われるが、どのような効果があったのか。</p> <p>(3) 今後の人口政策について  (要旨) 人口減少時代において、人口30万人を維持していくためには、重点的に行っている子供や高齢者施策はもとより、各世代に対し、より効果的で魅力的な施策を迅速に進めていく必要があると考える。今後、どのように取り組んでいくのか。</p> <p><b>3 コロナ禍で困窮する子供・保護者への支援について</b></p> <p>(1) スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置状況と取組状況について  (要旨) 不登校の児童生徒等への対応は十分に行えているのか、現状を問う。</p> <p>(2) こども食堂の状況について  (要旨) こども食堂は、食事の支援だけでなく、子供の見守り支援の拠点としての役割も担っている。全ての小学校区にこども食堂を開設することができたが、コロナ禍における実施状況及び児童に必要な支援が行き届いているかを聞く。</p> <p>(3) ひとり親の経済的自立支援について  (要旨) ひとり親が自立できる雇用につながる技術や技能を身につけるための支援をさらに強化すべきではないか。</p>		

発言順位	6	議員名	吉田 秀夫 (明石かがやきネット)
発言事項	<p><b>4 新型コロナウイルス感染症対策について</b></p> <p>(1) コロナ病床及び宿泊療養施設の大幅な増設について</p> <p>(要旨) 第4波では入院もできず、宿泊療養施設への入所もままならず、自宅療養せざるを得ない人が多く発生した。第5波を想定し、コロナ病床及び宿泊療養施設の大幅な増設が必要と考えるが、認識を聞く。</p>		

発言順位	7	議員名	灰野 修平 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 コロナ禍における市政の現状と影響及び今後の対策について</b></p> <p>(1) コロナ禍における市政の現状と今後への影響について  (要旨) 新型コロナウイルス感染症対策に係る職員の異動等によって本来の業務、施策や計画策定に影響が出ていると考える。現状、どれだけの影響が出ているのか。また、今後どれだけの影響が出ると予想しているのかを問う。</p> <p>(2) 今後の対策について  (要旨) 本来の業務、施策や計画策定に影響が出ている、また、将来影響が出ると予想されるならば、市民にとって不利益なことである。その影響は最小限にする必要があると考えるが、対策を聞く。</p> <p><b>2 学校での防災教育について</b></p> <p>(1) 小中学校での防災教育の現状について  (要旨) コロナ禍であっても災害は起こり得る。幼少期からの防災教育は重要であると考えますが、現在、小中学校ではどのように防災教育を行っているのか聞く。</p> <p>(2) フェーズフリーの考え方に基づいた学校教育について  (要旨) 日常時と非常時という2つのフェーズを取り払うというフェーズフリーの考え方に基づいた学校教育が重要と考えるが、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	8	議員名	佐々木 敏 (公明党)
発言事項	<p><b>1 G I G Aスクール構想による電磁波被ばくとブルーライト対策について</b></p> <p>(1) 小中学校の無線LAN整備による電磁波被ばくと、タブレット支給によるブルーライト対策について  (要旨) 成長段階にある子供に影響が大きいと言われる電磁波被ばくとブルーライト対策をしっかりとやらなければいけないと思うがどうか。</p> <p>(2) 電磁波過敏症の子供や教職員に対する対策について  (要旨) 海外では、電磁波過敏症の人でも学校に通えるように法律で様々な規制を加えている事例もある。日本では法的な規制はないが、何らかの対策が必要ではないか。</p> <p>(3) 児童生徒の保護者に対する電磁波被ばくとブルーライト対策の周知啓発及びその対策について  (要旨) 保護者と学校とが一体となって、子供が安全な環境で生活できるようにしなければならないと思うがどうか。</p> <p><b>2 他の自治体の優れた施策を学び実行を</b></p> <p>(1) 太陽光発電（メガソーラー）をため池に導入しないか。  (要旨) 稲美町では、多くのため池にメガソーラーを導入している。  2050年カーボンニュートラル実現に向けて、自治体の本格的な取組が求められることは確実である。将来を見越して、できることをできる時に実行できればと考えるがどうか。</p> <p>(2) スマートフォンを使って市民から情報収集をする（仮称）「明石ポスト」を導入しないか。  (要旨) 神戸市では情報共有アプリ「K O B Eぼすと」を作成し、市民から市に道路の不具合等の情報を簡単に提供でき、好評であると聞く。ぜひ、本市でも導入を検討してはどうか。</p>		

発言順位	9	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p><b>1 学校給食と市民の食を支える持続可能な農業の促進について</b></p> <p>(1) 明石の農業について  (要旨) 本市では都市近郊型農業が展開されているが、農地・就業人口とも減少傾向にある。人口増加の背景には、農地の住宅用途への転用増加があるが、今後の農業の展望について、市の見解を問う。</p> <p>(2) 有機農業について  (要旨) 全国的には、新規就農者の約3割が有機農業に取り組んでいるというデータがある。農業生産活動そのものを環境保全の一環とする有機農業について、市の見解を問う。</p> <p>(3) オーガニック給食について  (要旨) 海外をはじめ、国内でもオーガニック給食に取り組む自治体がある。心身ともに発達段階にある子どもの安全な食を保障する観点から社会的に求められていると考える。学校給食は、農作物の販路としても重要であり、安全な食と持続可能な農業の相乗効果も期待できる。市内だけではなく、県内全域、全国にまたがる食材調達・取組が必要となり、予算面など課題も多いが段階的な取組は必要と考える。市の見解を問う。</p>		

発言順位	10	議員名	林 健 太 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	<p><b>1 コロナ禍における選挙について</b></p> <p>(1) 投票所における新型コロナウイルス感染症対策について  (要旨) コロナ禍における投票所での感染症対策をどのように考えているのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 入院中及び自宅等での待機の方に対する投票機会の確保について  (要旨) 新型コロナウイルス感染症などにより、入院及び自宅等での待機をされている方に対する投票機会の確保をどのように考えているか、市の見解を問う。</p> <p>(3) 投票率向上について  (要旨) コロナ禍における外出控えなどを考慮すると投票率の低下が懸念されるが、投票率向上に向けて本市の見解を問う。</p> <p><b>2 新型コロナウイルス感染症に関する国の支援策の広報について</b></p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症に関する国の支援策の広報について  (要旨) 雇用調整助成金の特例措置の延長はもとより、個人で申請できる新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金や住居確保給付金など、国の支援策に関する広報が十分でないように感じるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	松井久美子（公明党）
発言事項	<p><b>1 コロナ禍における高齢者の健康維持と健康長寿社会の構築を</b></p> <p>(1) コロナ禍における高齢者の健康維持と介護予防に対する市の認識について  (要旨) コロナ禍が長期間にわたり、高齢者の健康不安や介護度が進むことが懸念されることから対策を講じる必要がある。</p> <p>(2) 70歳以上に交付されたサポート利用券と併せて送付された「困りごと等へのアンケート」の検証について  (要旨) 昨年6月、9月の緊急アンケート結果を検証し、今後の政策へ反映させる必要がある。</p> <p>(3) 医療や介護のデータ等を活用して、高齢者の健康状態を「見える化」し、市の課題に取り組むことで健康長寿社会の構築を。  (要旨) 医療や介護のデータ等を活用して、高齢者の健康状態を「見える化」し、市の課題に取り組むことにより医療や介護にかかる必要性を減らし、健康長寿社会を構築すべきである。</p> <p><b>2 生理用品サポート事業「きんもくせいプロジェクト」について</b></p> <p>(1) コロナ禍における「生理の貧困」の現状について  (要旨) 経済的理由で生理用品が買えない人のために、本年4月1日からスタートした生理用品サポート事業「きんもくせいプロジェクト」の実施状況について聞く。</p> <p>(2) 困難を抱えた女性への総合的支援について  (要旨) コロナ禍で浮き彫りになった生活に困窮する女性に対して、DV、貧困、離職、自殺防止等、様々な観点からの総合的な支援が必要と考える。</p> <p><b>3 SDGs（持続可能な開発目標）推進に向けた取組について</b></p> <p>(1) あかしSDGsパートナーズ（登録・認証）制度の現状と相談体制の充実について  (要旨) SDGsの推進には、事業者や市民団体、学校等との連携が不可欠である。今年度から創設された、あかしSDGsパートナーズ（登録・認証）制度の進捗状況と相談体制の充実について聞く。</p> <p>(2) 市内にSDGsに関連する図書コーナーの拡充を。  (要旨) 本年4月からあかし市民図書館に「SDGsの本棚」が設置されているが、SDGsへの理解をさらに深めるために、市内に図書コーナーの拡充が必要である。</p>		

発言順位	12	議員名	寺井吉広(自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 コロナショック下での明石ブランドへの支援について</b></p> <p>(1) コロナショックが明石産品に与えた影響について  (要旨) コロナショックにより、市内の飲食店やその取引関係業者は大きな打撃を受けている。水産物、農産物、酒類などの明石産品が受けた影響について、市の認識を問う。</p> <p>(2) 伝統ある明石ブランドの産品を支援する本市の取組について  (要旨) 新型コロナウイルスの感染拡大によりサプライチェーンが寸断され、明石産品にも大きな影響が出ている。早急に支援が必要であると考えるが、市の見解を問う。</p> <p><b>2 海岸・沿岸の保全と活用について</b></p> <p>(1) 現状と課題について  (要旨) 明石の海岸の環境保全について、海岸利用と海岸美化の観点から、その現状と課題についての認識を問う。</p> <p>(2) 今後の展望について  (要旨) コロナ禍により、行き場を求めて多くの人が海岸を訪れている。この機会を捉えて海岸利用の推進を図るとともに、利用マナーについて周知するなど、海岸の環境保全や一層の利活用を図る絶好の機会ではないかと考える。今後の展望について、市の認識を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	飯田伸子(公明党)
発言事項	<p><b>1 アスベストによる健康被害者の救済に向けた本市の取組について</b></p> <p>(1) アスベストによる健康被害者に対する本市の支援の現状について  (要旨) 本年5月、建設現場の元労働者によるアスベスト健康被害集団訴訟において、最高裁判所が国とメーカー側の賠償責任を認める判決を下した。アスベストによる健康被害について、本市が行っている支援策の内容及び現状について問う。</p> <p>(2) アスベストによる健康被害者に対する本市の今後の取組方針について  (要旨) 必要な支援につながない潜在的アスベスト健康被害者が本市にも多数存在していることが予想される。本市の今後の取組方針について問う。</p>		

発言順位	14	議員名	千住 啓介 (自民党 真誠会)
発言事項	<b>1 新型コロナウイルス感染症あかし支え合い基金について</b>		
	(1) 基金の運用について (要旨) 昨年度、医療体制の充実、市民生活の支援、感染拡大の防止等の経費に充てるために、市民からの寄附金を積み立てる基金を創設した。基金を応援する寄附金等が約1億8千万円集まったと聞いているが、その活用方法及び運用方法について見解を聞く。		
	<b>2 こどもを核としたまちづくりを行ってきた泉市長の家族観について</b>		
(1) 3月議会の市長答弁の真意について (要旨) 本年3月議会での一般質問の答弁において、市長から「今の日本の世帯主義は世界に類をみない誤った発想」との発言があった。その真意についてお聞かせいただきたい。			
<b>3 兵庫県知事選挙立候補予定者に対する公開質問状について</b>			
(1) 公開質問状を出した意図について (要旨) 明石市長として提出しているが、内容は市として合意したものと捉えてよいのか。また、その回答にはどのように対応するのか。県立の文化施設等の整備という具体的な内容が記載されているが、その方向性は、いつ、どのように決まったのか。説明を求める。			

発言順位	15	議員名	楠本 美紀(日本共産党)
発言事項	<p><b>1 生理の貧困について</b></p> <p>(1) 「きんもくせいプロジェクト」の取組内容について  (要旨) 海外でも生理の貧困が問題になっている。政府から新たな対策として、地域女性活躍推進交付金や地域子供の未来応援交付金の活用も示された。本市での具体的な取組を聞く。</p> <p>(2) 今後の展開について  (要旨) 2021年5月19日時点で255の自治体で支援策が行われているが、実施期間を区切っているところもある。困窮するひとり親家庭、ネグレクトの子供など、コロナ対策としてだけでなく継続的な配布支援を行う必要があると考えるが、本市の今後の対応を聞く。</p> <p>(3) 小中学校のトイレに生理用品の常設を。  (要旨) 必要とする児童生徒の手により届きやすいよう、トイレ内の個室に生理用品を常設してはどうか。</p> <p><b>2 子供たちが安心して過ごせる保育所に</b></p> <p>(1) 私立保育所職員の大量退職について  (要旨) なぜ大量退職に至ったのか。市としてどのような支援を行ったのか。現在の状況について聞く。</p> <p>(2) 待機児童解消について  (要旨) 待機児童が減った要因は、昨年から集計方法が変わったためなのか。隠れ待機児童が増えることにならないか。待機児童ゼロに向けた今後の取組について聞く。</p> <p><b>3 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について</b></p> <p>(1) 65歳以上のワクチン接種の状況について  (要旨) 予約初日の混乱は多少あったようだが、その後順調に進んでいるのか。また、接種したいのに申し込みができずにいる高齢者の方の把握及び接種につなげるための手立てについて聞く。</p> <p>(2) 集団接種会場で余ったワクチンを活用して優先接種を行う保育所・幼稚園職員の対象範囲について  (要旨) 優先接種は市内在住の職員に限られている。市内の保育所には市外在住の職員も勤めているが、同じように優先接種ができないかを聞く。</p>		

発言順位	15	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>(3) 介護事業の訪問介護職員への優先接種について  (要旨) 高齢者施設に勤める介護職員のコロナワクチン予防接種が優先的に行われたが、訪問介護職員は対象になっていない。職員は不安を抱えて多数の高齢者の方と接している。優先的に接種する必要があるのではないか。</p>		

発言順位	16	議員名	森 勝子 (維新の会)
発言事項	<p><b>1 コロナ禍における泉市長の言動について</b></p> <p>(1) コロナ禍における市政のジレンマについて  (要旨) 泉市長の市政に対する熱意は一定の理解ができますが、国から本市への医療ワクチンの供給量や、県の医療体制の整備などには問題があります。そのような中、これまで本市では精一杯、生活支援等で市民を支えてきたと思いますが、市長のお考えをお聞かせください。</p> <p>(2) 今後の市長の目指す明石の姿について  (要旨) 市長は度々メディアを通じて施政方針を打ち出しておられます。先日も、権限移譲について知事候補者にたすなど、市の発展を願う姿に大変に感心いたしております。  しかしながら、立候補予定者に公開質問状を送付するのは唐突ではないのでしょうか。市長の本心をお聞かせください。</p> <p>(3) 暴言を克服したその後について  (要旨) かつて市長の暴言が報道され、その際メディアに、気持ちをコントロールできない病があるということのカミングアウトされ、我々は気の毒であると同情いたしました。その後、治療も進められ安心しておりましたが、去る5月上旬、大阪府の吉村知事に対して「有害」「知事を辞めてほしい」と罵倒され、大変驚きました。市政のトップとしての体調をお聞かせください。</p> <p><b>2 西明石駅の再整備について</b></p> <p>(1) 西明石駅南エリアの民間工場跡地利用などについて  (要旨) 西明石駅は、新幹線停車駅で交通の要、明石の顔でもあります。しかし、残念ながら駅南エリアは50年前のままで、再整備は地域住民の長年の要望です。今後の展開をお聞かせください。</p> <p><b>3 動物殺処分ゼロへ向けた取組について</b></p> <p>(1) 明石まちねこプロジェクトについて  (要旨) 地域住民との話し合いがされたとお聞きいたしましたが、この問題は全国的に根強い抵抗があると聞いております。どのように前に進めていかれるのか、お聞かせください。</p> <p>(2) 動物センターの在り方について  (要旨) 動物愛護活動をされている方々から、動物センターが遠くて行きにくいとの意見が寄せられています。また、広いセンターの施設の利活用についても、今後どのように考えておられるか、お聞かせください。</p>		

発言順位	17	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p><b>1 障害者へのさらなる支援について</b></p> <p>(1) 障害者配慮条例について  (要旨) 本市で障害者配慮条例が制定され、5年が経過した。国会でも障害者差別解消法の改正案が可決されたことを受け、これまでの実績や市民の声、さらなる支援について、市の考えと予定をお尋ねしたい。</p> <p>(2) 旧優生保護法被害者への支援について  (要旨) 昭和23年から平成8年まで、旧優生保護法に基づく強制不妊手術により障害者が子を産み育てる権利が奪われてきた。本市でも被害者夫婦が平成30年から裁判を行っているが、国による被害者救済は不十分である。本市で、犯罪被害者に対する支援策と同様に旧優生保護法被害者にも寄り添った支援ができないか。市の考えと今後の予定をお尋ねしたい。</p>		

発言順位	18	議員名	宮坂 祐太 (フォーラム明石)
発言事項	<p><b>1 福祉事業所における人材の確保及び育成について</b></p> <p>(1) 福祉人材の確保及び育成に向けた本市の取組について  (要旨) 高齢化の進展が予想される中、必要となる福祉人材の確保は喫緊の課題となっています。新たに福祉現場で働こうと思う人材の確保及び育成を行うなど、市としても対策を講じる必要があると思いますが、今後の取組についてお伺いします。</p> <p>(2) 主任ケアマネージャー研修等への受講費助成について  (要旨) 現状、本市独自の福祉人材確保・資格取得支援事業の受講費助成の対象となっているのは、介護職員初任者研修及び介護福祉士実務者研修のみですが、介護施設における質の高いサービスを継続的に提供できる環境を整えるためには、ケアマネージャーをはじめとする、より専門性の高い職種の人材確保・育成が重要です。  特に主任ケアマネージャーについては、都道府県ごとの研修受講費の多寡(たか)、居宅介護支援事業所における管理者要件の厳格化とその猶予期間の延長、さらには、資格取得に対する法人等の認識といった課題があり、市として受講費助成を検討すべきと考えますが、見解をお伺いします。</p> <p><b>2 公共工事の施工時期の平準化について</b></p> <p>(1) 公共工事の施工時期の平準化に向けた本市の取組について  (要旨) 本市の公共工事の平準化率は令和元年度実績値で0.56と、平成30年度実績値0.80から悪化しています。公共工事の施工時期については、市や事業者だけでなく市民にとってもメリットが大きいという観点から、平準化率を可能な限り1に近づけるための取組を重ねることが重要です。国が推奨する債務負担行為の活用をはじめとした、本市における平準化に向けた取組の現状認識と課題、今後の方策についてお伺いします。</p>		

発言順位	19	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発言事項	<p><b>1 大久保北部の里山をはじめとする明石の緑のあり方について</b></p> <p>(1) 大久保北部遊休地への土砂受入れについて  (要旨) 大久保北部遊休地一帯は、本市に唯一残された里山で、景観はもとより、生物多様性あかし戦略において、まとまりのある豊かな生態系が残る拠点として位置づけられている。また、地下水脈などの水循環や明石の豊かな海の生態系を保つためにも重要な役割を果たしている。このような大事な場所を潰して土砂を受け入れることはあってはならない。2つの市民団体から土砂受入れに反対する要望書が市に出されているが、それらを踏まえた上で、市の見解を問う。</p> <p>(2) 大久保北部のかけがえのない里山の今後の利活用について  (要旨) 今後は、里山の生物多様性拠点としての整備、野外活動や環境体験学習の場としての活用、キャンプ場や市民農園の復活など、コロナ禍だからこその新しい発想で、里山の自然や景観を生かした利活用をすべきであると考えているが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 本市の緑のあり方について  (要旨) 新幹線車両基地候補地には、今年2月中旬から4月下旬にかけて10羽以上のコウノトリが飛来し、豊かな生態系があることを証明してくれた。また、工場緑地のあり方についての検討も始まっているが、現状はどうなっているのか。これらの課題を考える上においては、本市全体の緑のあり方の方向性を明確にする必要がある。市はどのように考えているのか、見解を問う。</p> <p>(4) SDGs 未来安心都市の象徴として、JT跡地を緑豊かな都市公園にしてはどうか。  (要旨) 国土交通省が実施したコロナ危機を踏まえた市民の日常生活の行動や意識の変化に関する全国アンケート調査では、「充実してほしい都市空間」の第1位は、「公園、広場、テラスなどゆとりある屋外空間」であった。  アフターコロナにおいて、市民が暮らしやすい都市を目指すためには、住宅地の中に、緑豊かで市民が憩える都市公園などの屋外公共空間を造るという発想の転換が必要であるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	19	議員名	丸谷 聡子 (かけはしSDGs)
発言事項	<b>2 重層的支援体制整備事業について</b>		
	(1) 移行準備と市民への周知について (要旨) 本市は、令和4年度より重層的支援体制整備事業移行を前提として、どのような準備を進めていくのか。また、市民に対してはどのように周知していくのか、市の見解を問う。		
	(2) 実施計画の策定について (要旨) 行政内部の計画策定に加えて、地域全体の関係者による計画策定が求められているが、策定スケジュール、体制の構築、市民参画手続き等はどのように進めていくのか、市の見解を問う。		
	(3) 支援拠点としての地域総合支援センターの課題について (要旨) 本市は、3年前から地域総合支援センターにおいて、先行的に福祉まるごと相談に取り組んでいる。今後、重層的支援を行う上での課題とその解決策について、市の見解を問う。		
<b>3 ヤングケアラーへの支援について</b>			
(1) 具体的な支援策について (要旨) この度、厚生労働省と文部科学省の共同プロジェクトチームがまとめたヤングケアラーへの支援策についての報告書が公表された。本年3月議会において、本市の支援策については早急に全庁を挙げて検討するとの答弁があったが、その後の進捗状況と具体的な支援策について、市の見解を問う。			
<b>4 新型コロナワクチン接種のリスク管理について</b>			
(1) ワクチン接種予約の課題と改善策について (要旨) 65歳以上の高齢者のワクチン接種予約において、多くの市民から疑問の声を聞いている。課題認識と市民への説明責任、今後の改善策等について、市の見解を問う。			
(2) ワクチン接種時の過誤防止対策について (要旨) 他市ではワクチン接種時の過誤が散見されるが、本市はそんなことが起きないように対策はできているのか、市の見解を問う。			
(3) ワクチン接種による差別防止について (要旨) ワクチン接種を希望しない市民が差別されることがないように、どのような対策を講じていくのか、市の見解を問う。			
(4) 学校でのワクチン集団接種について (要旨) 神戸市は学校での集団接種を検討するとの報道があったが、本市も実施するのか。課題も多いと考えるが、市の見解を問う。			

発言順位	20	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<b>1 明石市「有言実行」プランについて</b>		
	(1) 政令市への移行について (要旨) 市長の認識を問う。		
	(2) 権限移譲について (要旨) 実現の見通しと権限移譲による効果について問う。		
	(3) SDGs推進計画について (要旨) 政令市への移行をどのように位置づけるのか問う。		
	(4) 新庁舎整備への影響について (要旨) 見直しが必要と考える。認識を問う。		
	(5) 公開質問状の取扱いについて (要旨) 今後のまちづくりに重大な影響があると考え、各立候補予定者の回答については積極的に公表するべきと考える。あわせて、各立候補予定者の回答に対し、市長の評価を明らかにするべきと考える。今後の対応について認識を問う。		
	<b>2 明石クリーンセンターの管理・運営について</b>		
	(1) 再委託に係るルールについて (要旨) 認識を問う。		
	(2) 再委託承諾書について (要旨) 2017年度以前の再委託承諾書が存在しない理由について見解を問う。		
	<b>3 スクールガードについて</b>		
(1) 担い手の現状について (要旨) 各校区のスクールガードの担い手の現状に係る認識を問う。			
(2) 活動中の事故に係る責任の所在について (要旨) スクールガードの活動中に事故等が発生した場合の責任の所在について認識を問う。			
<b>4 水防体制とワクチン接種について</b>			
(1) コロナ禍の体制について (要旨) ワクチンの集団接種会場に多くの職員が動員されている。7月は県知事選挙があり、そちらにも職員が動員される。さらに台風や豪雨が重なった場合、水防体制を組むことができるのか、見解を問う。			
(2) 荒天等による集団接種の中止に係る判断基準について (要旨) 見解を問う。			

発言順位	20	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	(3) 集団接種を中止した場合の対応について (要旨) 予約をスライドするのかなど、対応について問う。		

発言順位	21	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p><b>1 コロナに負けない生活支援と福祉の充実について</b></p> <p>(1) その後の生活困窮者への支援の現状について  (要旨) 新型コロナウイルスの感染者数は、(県内において)減少傾向にあります。深刻な経済損失を招いております。この間、失業などで収入が減り、生活が苦しくなった方への対応は適切に行われているのでしょうか。現状及びこの間の取組をお聞かせください。</p> <p>(2) 今後の支援策について  (要旨) 長期間のコロナ対策による疲弊、苦境を把握し、生活困窮を理由に命を絶つことがないよう、施策のさらなる展開を望みます。市民の生命・生活を守る、精神面も含めた支援策の今後の展開をお聞かせください。</p> <p>(3) 保育所の待機児童ゼロについて  (要旨) 待機児童ゼロに向けての現状と今後の展開をお聞かせください。</p> <p>(4) ヘルプマーク・ヘルプカードについて  (要旨) ヘルプマーク・ヘルプカードは、病気や障がいなどがあることが外見からは分からない方々が周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークであり、全国で普及が進んでいます。本市での取組状況をお聞かせください。</p> <p><b>2 「安全なまち明石」の実現のための危機管理について</b></p> <p>(1) 総合治水対策は万全なのでしょうか。  (要旨) いつ、どこで発生してもおかしくないと言われる線状降水帯が生じれば一大事です。明石川が氾濫し、多くの命が失われる危険性があります。本市の治水対策をお聞かせください。</p> <p><b>3 地球にやさしい取組について</b></p> <p>(1) 本市でできるCO<sub>2</sub>削減について  (要旨) CO<sub>2</sub>の排出量を減らし、環境に負荷をかけない社会をつくる様々な取組が世界中で進められています。本市での取組をお聞かせください。</p>		

発言順位	21	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p>(2) 本市でできる海洋プラスチックごみ削減について  (要旨) 近年、海洋プラスチックごみによる海洋汚染は地球規模で広がり、北極や南極でマイクロプラスチックが観測されたとの報告もあります。海洋汚染により、生態系、生活環境、漁業、観光等への悪影響が懸念され、国連をはじめとする様々な国際会議でも、喫緊の課題として、その対応について議論が行われております。世界中の多くの研究者が、解決に向けて様々な調査や研究に取り組んでいますが、その広がりも十分とは言えないそうです。</p> <p>この際、海のまち明石から、海洋プラスチックごみ削減推進を呼びかけてはいかがでしょうか。見解をお聞かせください。</p>		